



大阪科学・大学記者クラブ 御中
関西レジャー記者クラブ 御中

2019年8月7日
大阪市立大学

園長と観察！

エキゾチックな熱帯植物を 200 種展示

「熱帯植物観察会」を開催します！

大阪市立大学理学部附属植物園は、2019年9月7日（土）に「熱帯植物観察会」を開催します。普段なかなか見ることのできないエキゾチックな熱帯植物から、アボカドやマンゴー、パパイヤなど果実は馴染みがあるけれど実際どのような木なのか意外と見たことがない植物まで、間近で観察できる絶好の機会です。広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

📍ご取材のポイント

・約 200 種類の貴重な熱帯植物を展示

当園では、数多くの貴重な熱帯植物を保有し、多肉植物（約 100 種類）、食や素材・文化に関わる有用植物（約 100 種類）など、あわせて約 200 種類展示します。

・暑い時期だけの限定公開

貴重な熱帯植物は、1年のうちほとんどの期間、非公開の研究温室で保存されています。外気温の上がるこの時期だけ温室外に植え出し、おおむね 10 月末頃まで一般公開します。

・山田敏弘園長が解説

昨年度より就任した山田敏弘園長が熱帯植物について解説します。



山田敏弘（やまだ としひろ）専門分野：進化古植物学

2011年9月 - 2018年3月 金沢大学 理工研究域自然システム学系 准教授

2018年4月 - 大阪市立大学大学院理学研究科 教授

理学部附属植物園 園長



「原始的なサボテン」コノハサボテン

遠目には普通の木で、大きな葉を備え、枝幹も太くなりません。トゲはサボテン科植物そのもので、葉のつけねのところにはえる芽、腋芽には刺座があり、ここから刺を生やします。刺は針状で、意外に強力！



「人間との関わりが深い裸子植物」グネツム

スギやマツと同じ裸子植物だが、進化上は被子植物に近い。種子にはデンプンが多く含まれ、つぶして油で揚げ煎餅のようにして食べられます。また、じんぱい（外皮のすぐ内側の柔らかい部分）の繊維は、ロープ、網、釣り糸、製紙原料などに利用されます。

- 開催日時 2019年9月7日（土）13時30分～15時00分（小雨実施）
- 会場 大阪市立大学理学部附属植物園（大阪府交野市私市 2000）
アクセス：京阪電車交野線「私市（きさいち）」駅下車、徒歩約6分
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html
- 入園料 350円
※中学生以下の方、大阪市民で満65歳以上の方（住所・年齢の分かるものを提示）、交野市民でメイトカードをお持ちの方、障がい者手帳をお持ちの方（本人と付添の方1名）は無料
- その他 ①事前申し込みは不要です。
当日、直接ご来園いただき、13時30分に植物園入口事務所前にお集まりください。
②写真撮影は自由です。

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：中野

TEL：072-891-2059（9時～17時）FAX：072-891-2101 Mail：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

熱帯植物観察会

2019年 9/7 (土)
13:30~15:00 (小雨決行)

大阪市立大学理学部附属植物園の 熱帯植物観察会の特長

- ◆ 暑い時期だけの限定公開
- ◆ 多肉植物エリア (約100種類)
サボテン科とその他の多肉植物
- ◆ 有用植物エリア (約100種類)
(A) 食にかかわるエリア
(B) 素材や文化にかかわるエリア
- ◆ 講師は大阪市立大学大学院理学研究科
教授で当園園長の山田敏弘

【集合場所】 植物園入口事務所前
(事前申し込み不要)

* 当日、直接ご来園ください。

【参加費】 無料

(ただし、入園料350円は必要)

【問い合わせ先】 大阪市立大学理学部附属植物園

〒576-0004 大阪府交野市私市2000番地

TEL : 072-891-2059 HP : <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>

